



## ボランティアさん紹介

### 定年退職後にボランティア活動

今回の「さわやか」新聞は、あるボランティアさんにスポットをあて、作成しました。八幡事業所に登録しているボランティアさんで、聴覚に障がいがある辻龍男さんです。辻さんに質問形式で取材をしました。また、辻さんが送迎している利用者の奥様にもコメントをいただきましたので、併せて掲載させていただきます。「さわやか」新聞編集部

二年ほど前、北九州市障害者団体連絡協議会の事務局から電話があり、「難聴の方が『さわやか』さんの運転ボランティアをしたいというので、お話を聞いてほしいのですが・・・」と言われました。

その頃の私たちは難聴の方とのコミュニケーションの取り方などに自信がありませんでしたが、辻さんの情熱に動かされ、社会福祉協議会の安全運転講習に手話通訳の方をお願いし、無事に講習を受けることができました。

現在、辻さんは「さわやか」

### 辻 龍男氏 プロフィール



昭和26年生まれ  
福岡県立小倉聾学校  
高専部卒  
北九州市にある会社を  
37年勤めて平成23年に  
定年退職  
趣味は海外旅行

### 第46回 ボランティア研修交流会

#### 一攫千金 「さわやか」バスツアー

日にち:平成26年10月19日

行先:①今回、工場見学は  
(ヒント) ありません。  
(もちろんビル工場にも  
行きません)

- ②温泉は、もちろん  
ありますよ!
- ③もしかしたら、大金持ち  
になれるかも・・・?  
(宝くじではないよ!)
- ④美味しい果物も  
いろいろありますよ!

参加費:5,000円

主催 特定非営利活動法人  
通院介護センター「さわやか」

数年前に、通院先(済生会八幡総合病院)の掲示板

「さわやか」を知ったのは、  
どのようなきっかけでしたか?

聴覚障害になりました。  
小学部から高等部まで県立小倉聾学校に通学、高等部卒業前に腎臓病発病の為に入院の経験があります。

聴覚障害になられた経緯を  
差し支えない範囲で教えてください。

### アンケートの回答

重要な「戦力」として活躍していただいております。



「さわやか」のことが揭示してあり、それを見て、定年退職後、ボランティア活動をしたと思っています。

「さわやか」以外のボランティア活動の経験はありますか?

聴覚障害者協会事務所の  
お手伝い(奉仕)をしています。

「さわやか」の活動を行っている中で、困ったことはありますか?

最初は、患者さんとのコミュニケーション不足がありました。少しずつお互いの会話のコミュニケーションを努めてまいりました。だから不安はありません。特に困った事はありません。

患者さんとの会話です。

「さわやか」の活動を行っている中で、楽しく思えることは、ありますか?

今後、辻さんはどのように活動をしていきたいですか?

週一回、パソコン教室に通っています。

もっとパソコンの勉強をしたいと思っています。

盲聾者の送迎、又は通訳をしたいと思っています。

「さわやか」の事務局員についてどう思われますか?

週三回透析の事務員が通院し、事務局に頑張っている姿が大変だなあと感じました。

### 送迎時の様子



### 感謝の言葉

八田 淳・幸子

ちょうど二年ほど前に済生会八幡総合病院の訪問看護師さんから、「さわやか」さんを紹介してもらいました。主人の通院がタクシーでないと行けない状態でしたので、数か所ある病院の通院はとても大変でした。

その時に「さわやか」さんから辻さんを紹介してもらいました。

辻さんは定年退職をされて「さわやか」のボランティアさんになられたと聞きました。

初めて辻さんにお会いしたときは、背が高く、さわやかで何よりやさしい方だと感じました。

聴覚の障害を持っておられると伺っていましたが、唇を見て私の言っていることがわかってくださるので全く違和感もありませんでした。

お迎えの五分前にはきちんと車を玄関前に横付けしてくださいます。

主人も私も辻さんにお会いするのを楽しみにしており、全幅の信頼をして送迎をお願いいただいております。

これからもよろしくお願いたします。

### 総務省九州管区行政評価局 「福祉有償運送」の実態調査に来られる

この実態調査は、平成十八年の道路運送法の改正により、福祉有償運送等の自家用有償旅客運送の登録制度が創設されましたが、地域によっては制度運用の中心となる運営協議会が未設置の地域も多く、較差が生じています。

このような状況を踏まえ、運営協議会の適切な運営の確保、福祉有償運送の安全性の確保、利便性の向上を図る観点から、福祉有償運送の登録状況、運営協議会に対する支援等の実施状況登録を行っているNPO等に対する指導監督状況を調査し、関係行政の改善に資するため実施するものであります。(総務省の福祉有償運送に関する実態調査の目的より一部抜粋)



総務省九州管区行政評価局  
森田優弥 総務事務官  
作間正和 評価監視官  
碓 信幸 評価監視調査官

九月十二日(金)午前九時半より「さわやか」八幡事業所において、総務省九州管区行政評価局から三人の調査官の方が来られ、「さわやか」でのヒヤリングが行われました。

「さわやか」では、山田理事長と高原事務局長、貞谷事務局長で対応させていただきました。

調査の内容は、利用者や運転者の登録状況や運営協議会や運輸支局に提出する

書類の確認など細かく調査されていきました。

また、「さわやか」新聞にも興味を持っていただき、利用者さんの声などを掲載したものの写しも持っていかれました。

北九州市の運営協議会の「ローカルルール」とも言える利用者の事後報告や今後行われる、運転者の方の車両入れ替えの持ち回り決議についても山田理事長がその経緯と実態を詳しく説明していました。

### 今月のスクープ! デング熱に注意しましょう

最近、テレビや新聞等で八月から国内でデング熱に感染した患者が報告されています。毎日のように報道されており、「さわやか」でも取り上げてみました。

デング熱は蚊を介して感染するものでヒトからヒトに直接感染することはあり

ません。屋外の蚊が多くいる場所で活動する場合は、出来るだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用するなど、蚊にさされないよう注意しましょう。

Q① デング熱とはどのような病気で症状は?

A① デングウイルスが感染しておこる急性の熱性感染症で、症状として突然の発熱(高热)、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹等の症状が見られる。デング熱の可能性もある。早めに医療機関を受診して下さい。

Q② どのように感染するの?

A② ウイルスに感染した患者を蚊が吸血すると、蚊の体内でウイルスが増殖し、その蚊が他者を吸血する事でウイルスが感染します。また感染しても発症しない事も多くみられます。

Q③ 感染を媒介する蚊は日本にもいますか?

A③ 主たる媒介蚊はネッタイシマカ(日本には常在していません)です。しかし、日本のほとんどの地域(秋田県および岩手県以南)で見られるヒトスジシマカ(一般的に「やぶ蚊」と言われています)も媒介します。



Q④ 治療薬はありますか?

A④ デングウイルスに対する特有の薬はありませんので、対症療法となります。

Q⑤ デング熱に罹ると重い病気ですか?

A⑤ デング熱は、体内からウイルスが消失すると症状が消失する、予後は比較的良好な感染症です。

しかし、まれに患者の一部に出血やショック症状を発生するデング出血熱やデング症候群に移行することがあり、その場合は適切な治療がされないと致死性の病気になる場合があります。

Q⑥ デング熱と風邪の見分け方はありますか?

A⑥ デング熱は風邪やインフルエンザの症状と酷似している。

判別の指標となる症状は「目の裏が痛い」という症状がある場合はデング熱感染が疑われます。医療機関に受診してください。

Q⑦ どのように予防すればよいですか?  
A⑦ 蚊との接触を避け、刺されないようにすることが重要です。

★長袖、長ズボンを着用するなど、肌の露出をなるべく避ける。  
★虫よけ剤等を使用し、蚊を寄せ付けないようにする。

★蚊の幼虫の発生源を作らないようにする。蚊は水辺に産卵しますので、水の入ったバケツ、空き缶、空き瓶などを放置しないように注意しましょう。



Q⑧ 予防接種はありますか?  
A⑧ デング熱に有効なワクチンはありません。現在ワクチンの開発がすすまられています。今回、「デング熱」についてわかりやすくQ&Aにまとめてみました。

尚、ヒトスジシマカは、日中、屋外の活動性が高く、活動範囲は五〇〇〜一〇〇〇程度と言われ、活動時期は概ね五月中旬から一〇月下旬頃までです。(インターネットより)